

はじめに

平成25年度は、1. 地域福祉の推進 2. 利用者本位の福祉サービスの提供 を事業方針として、以下の4つの重点目標に基づき、諸事業に取り組んだ。

1. 第4次地域福祉推進計画の平成25年度年次計画の実施により

- ①自治会エリアでの見守り、支えあいの仕組みづくり
- ②地域での見守り・支えあい活動を支援できる社会福祉協議会 に取り組めます。

社会福祉協議会の思いを伝え、自治会での取り組みや課題を知るために、今年度も自治会での会合に出かけて行く取り組みを行い、住民の皆さんが考えていることを教示いただく貴重な機会となった。また、地域での見守り・支えあい活動を支援できる組織を目指し、先の自治会訪問も含め、事務局の地域福祉担当者や地域包括支援センターの職員だけでなく、福祉サービス部門の職員も参画した社協事業・組織検討委員会を立ち上げ、年次計画をすすめていった。

2. ボランティア活動および福祉教育の推進を行います。

高校での総合ボランティアの授業の企画、実践にボランティアセンターも参画し、より充実した授業を提供するために、多くのボランティアやNPOと協働した。また、小学校での取り組みに、地域の高齢者に参加していただくためのコーディネーターなども行った。学校で行われる福祉教育に積極的に取り組んでいる。このような取り組みを通して、今後は地域の中で行われる活動に、児童や生徒に参加してもらい、様々なことを学んでもらう取り組みをコーディネートしていきたい。

3. 利用者が安心して地域の中で暮らしていく支えとなるよう、事業者として質の高い福祉サービス提供に努めます。

外部で開催される研修への職員の参加、内部研修の実施、日常的なミーティングでの職員相互の情報の共有等を通じて職員の資質の向上に努めた。また、播磨町に住む利用者や家族のそばにいて、住み慣れた家で、住み慣れた地域で生活続けることを支援する専門職として、利用者や家族の思いや制度の谷間などの日頃の気づきを、第4次地域福祉推進計画の推進に反映するよう心がけた。

4. 3施設の指定管理者として、最終年も効率的な運営を行うとともに、次期においても指定管理者として住民の福祉の向上に寄与できるよう取り組みます。

福祉会館の給湯設備、福祉しあわせセンターの空調設備に何度も故障し、幾度となく対応に迫られる1年であった。このように経年劣化が進む中で、指定管理者として、経費を節減し、長らく設備が使えるように長期的な展望に立った改善提案を町にしていくことの重要性を感じた。このようなことを踏まえ、平成26年度からの新たな5年間に対する提案を行い、引き続き、指定管理を担うこととなった。

〔I〕 在宅福祉活動

在宅高齢者地域生活支援サービス

★は委託事業

①事業名	高齢者給食サービス										事業開始	S55.7			
事業目的	地域在宅高齢者の栄養と健康面の改善を図るとともに地域との交流を深め、在宅高齢者の福祉の推進を図る														
事業内容	毎週木曜日の夕食の配食(8月以外)。利用者負担200円①町内に子どもが居住しない一人暮らし高齢者 ②夫婦いずれかが身障手帳3級以上を所持している高齢者夫婦世帯 ③高齢者夫婦世帯(夫婦合計160歳以上) ④その他														
利用世帯		①ひとり暮らし高齢者				②身障者世帯			③高齢者夫婦世帯			④その他			合計
	本年度	97人				5世帯 10人			22世帯 44人			19人			170人
	前年度	89人				7世帯 14人			22世帯 44人			19人			166人
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	実施回数	4	5	4	4		4	5	4	3	4	4	4	45	44
	延利用者数	678	524	532	536		518	644	522	383	516	488	483	5,824	5,839
	調理ボランティア	65	87	71	68		66	86	68	52	69	65	62	759	778
	配食ボランティア	15	20	16	16		15	20	15	12	15	15	16	175	181
総括	利用者世帯や食数等、昨年とほとんど変化はなかった。また、配食に時間の余裕がないことから、一人暮らしの方など利用者とゆっくと話を聞く時間が持てないたので、もう少しキーステーション等地域で関わっていただける方が増やしていきたい。														
②事業名	★ 寝具乾燥消毒サービスの受託										事業開始	H13.7			
事業目的	在宅の高齢者及び障害者に対して、寝具類等の乾燥消毒を行うことにより、住みなれた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、もって保健福祉の向上を図る。														
事業内容	居宅に寝具乾燥車を派遣し、対象者の使用する寝具類等を乾燥消毒する。①65歳以上の単身世帯②65歳以上のみの世帯③身体障害者手帳1,2級か療育手帳所持者の単身世帯④重度心身障害者のみの世帯⑤重度心身障害者と65歳以上の世帯⑥その他 原則1回/月、3枚/回。利用料300円/回														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	実施回数	4	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4	50	36
総括	社協だよりに記事掲載をしたことにより、問合せや申込みがあり、登録者数は8名となった。これに伴い、年間利用者数も少しではあるが増加しており、継続的な広報の必要性を感じた。														
③事業名	介護機器の貸出事業										事業開始	H25.4			
事業目的	在宅で介護を受けている高齢者のために介護用品の貸出しを行い、介護の便宜を図り、福祉の増進に寄与する。														
事業内容	町内在住のおおむね65歳以上の高齢者を対象に、車椅子・ポータブルトイレ等の介護用品の無料貸出を行う。またパンフレットにより、購入の斡旋を行う。														
事業実績		車椅子			ポータブルトイレ										
	保有数	20			5										
	貸出件数	115			25										
	前年度貸出件数	49			11										
...	旅行などで外出される時に多く利用されているように思う。以前長期で使用の方も介護保険でのレンタルなどに切りかえられているようでスムーズに貸														

在宅障害者地域生活支援サービス

④事業名	移送事業												事業開始	H9.4	
事業目的	町内に在住する身体の不自由な高齢者および障害者等で、家庭で移送手段を確保するのが困難である方に、医療・保健・福祉の利用の便を図り、在宅福祉の向上に寄与する。														
事業内容	車椅子を使用するおおむね65歳以上の高齢者および身体障害者(児)で、心身の状態により他の交通機関の利用が困難で、家庭等で移送手段の確保が困難な方を対象に、リフト付車輛で病院への通院や入院院・福祉施設への入退所等への送迎を行なう。														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	延べ実績	40	38	45	40	37	35	42	48	42	28	31	38	464	699
	実利用者	21	20	22	21	17	18	19	18	20	17	18	18	229	240
総括	利用者については大きな変動がなかった。3年に1度の更新時期を迎え、申請を行い承認された。														
⑤事業名	★ 要約筆記者派遣事業の受託												事業開始	H13.4	
事業目的	中途失聴者及び難聴者が社会生活上必要不可欠な会合に出席する場合に要約筆記者を派遣することにより、意思伝達の手段を確保し、もって難聴者等の福祉の増進に資する。														
事業内容	登録している難聴者等が公的機関、学校や医療機関等での複雑な会話を必要とする場合や、社会生活上コミュニケーションを図ることが必要な場合に所定の技術を有した登録筆記者を派遣。対象者＝町内に居住する18歳以上の身体障害者手帳所持者で、要約筆記を必要とする者。														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	派遣回数	6	2	2	2	0	2	2	2	0	0	0	2	20	16
総括	当初、前年度と比べると利用回数・時間ともに多く、予算が厳しい状況にあったが、最終的には、予定件数内に落ち着いた。年度末には派遣事業説明会を行い、改めて申請書等の取扱いに関する事務とサービスの利用方法について説明を行った。														
⑥事業名	★ 手話通訳者派遣事業の受託												事業開始	H15.4	
事業目的	聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者等の家庭生活並びに社会生活における情報収集やコミュニケーションを円滑に行い、聴覚障害者等の自立と社会参加の促進を図る。														
事業内容	派遣内容＝公的機関への各種申請や、届出・相談時や、社会生活上コミュニケーションを図ることが必要な場合、そして権利や義務に関わる重要な用件等の場合に派遣する。 対象者＝町内に居住または、勤務する18歳以上の身体障害者手帳の交付を受けた聴覚障害者等。														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	派遣回数	4	2	1	2	1	2	2	2	2	1	1	2	22	19
総括	年度末に派遣事業説明会を行い、改めて申請書等の取扱いに関する事務とサービスの利用方法について説明を行った。														
⑦事業名	★ 声の広報事業の受託												事業開始	H14.4	
事業目的	視覚障害者に対し、広報録音テープを配布することにより、より多くの情報を得ることができ、もって視覚障害者の社会参加の促進に資する。														
事業内容	朗読ボランティア「のぎく」により、毎月発行される町広報、社協だより、議会だよりなどの内容をテープに録音し、視覚障害者用テープ郵送袋により郵送し、情報を提供する。														

総括 一人の利用者から、次年度より中止する旨申し出があった。耳から情報を得ることに慣れず、拡大鏡を使って読むようにしているとの理由であった。次年度より利用者が減ることを受け、現在ホームページでも音声を確認できるようにしているが、手帳取得済の方だけでなく、その他耳の聞こえにくい方にも事業内容を知っていただけるよう、今後もPRに努める。

⑧事業名	★ 手話奉仕員養成事業の受託						事業開始	H17.6
事業目的	手話奉仕員の登録者を増員し、聴覚障害者の利便性を図り、社会参加を促進する。							
事業内容	兵庫県聴覚障害者協会、播磨町聴覚障害者部会たいよう、手話サークルはりまから講師派遣を要請し、20回の初級講座を開催する。							
事業実績	回数	本年度 20回	前年度 21回	受講者	本年度 10名	前年度 6名	講師：	稲美町ろうあ協会 手話サークルはりま
総括	年齢層は様々だったが、自宅でも復習をされるほど皆さん熱心だった。講座終了後は、全員が手話サークルはりまに加入された。講座修了者の受け皿となっているサークルの会員は順調に増えているが、次年度からカリキュラムが変更となることから、これまでの受講者の不足分をどのように補っていくか検討が必要である。							

⑨事業名	★ 生活訓練事業の受託						事業開始	H18.6				
事業目的	障害児の長期休業中における自立支援として、日常生活や社会生活上必要な訓練、指導及びレクリエーション活動を通じての交流を目的とする。											
事業内容	夏休みの長期休業中の小学校の障害児学級生や養護学校生に対し、個人の能力に応じた買物や調理・清掃など日常生活訓練やレクリエーション活動などを通じて、他の学校の友達とふれあい、交流を持つ。											
事業実績	利用者数		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	スタッフ		実施日数
		本年度	4	5	3	2	5	4	23	28		13日
		前年度	2	4	3	5	4	1	19	25		13日
総括	事業初参加の児童が全体の半数近くいたことから、普段通学している学校教員に対し、関わり方等の情報提供や助言を求め協力を得た。昨年度よりスタッフの人数は増えたが、出席回数の少ない方も多く、全体を通して体制は十分とは言えない状況が続き、体制面での課題が残った。また、スタッフを束ねる役割を担うリーダーを見つけることが出来ず、社協職員が担うかたちとなった。比較的に重度の方からの需要が高い中で、普段から特別支援教育に携わっているスクールアシスタントや支援員の協力を得て、安定した体制を整える対策が必要である。											

その他生活支援活動

⑩事業名	福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）						事業開始	H12.4				
事業目的	判断能力に不安がある高齢者・知的障害者・精神障害者等の方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言、並びに福祉サービスの提供を受けるために必要な手続き、または福祉サービスの利用に要する費用の支払い等の援助を行い、在宅生活を支援する。											
事業内容	基幹型社協の専門員が策定する支援計画に基づき、生活支援員が訪問し、①福祉サービスの利用援助・情報提供・助言・申込手続きの代行・苦情解決制度の利用援助 ②日常的な金銭管理・福祉サービス利用料の支払い等・通帳、印鑑等の預かりを行う。											
事業実績		利用者数										
	本年度	8名	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認									
	前年度	4名	・預金通帳及び印鑑の預かり ・日常生活費のお届け ・サービス利用料等の支払い ・文書の確認									
総括	死亡や施設入所による解約が2名あったが、一方で新規契約4件あり、また、サービス事業所や行政機関からの相談も増え、契約に向けて調整しているケースもいくつかある。まだまだ潜在的なニーズがあることが予想されることから、生活支援員の増員等、実施体制の整備が課題である。											

⑪事業名	★権利擁護支援事業の受託					事業開始	H25.4
事業目的	高齢者・障害者等への虐待及びその他の権利侵害の防止策や権利を守るための支援策など権利擁護に関する課題等について検討し、権利擁護の意識に満ちたまちづくりを推進する。						
事業内容	虐待防止や成年後見制度の利用促進などの啓発活動を通じ、権利擁護の意識の醸成を行うとともに、見守りや権利擁護支援が必要な高齢者や障害者が、地域で安心して暮らせるように権利擁護支援員等の人材の養成や養成した人材を活用するための地域での支え合いを推進するシステムづくりを行う						
事業実績	開催内容	委員会	権利擁護まちづくり講演会	権利擁護支援員養成講座	高齢者虐待防止サービス従事者講座	事例検討会	
	回数	毎月1回	11月(虐待) 2月(成年後見)	1月～3月毎週木曜日 全9回	2月3日～17日毎週月曜日 全3回	2回	
	人数	14名	62名 85名	15名	27名	14名	
総括	権利擁護支援員養成講座では、権利擁護に関する事に積極的な住民の方に多く参加してもらえ全員終了できた。今後は権利擁護支援員が活躍できるシステムづくりを検討すると同時に、権利擁護支援員のスキルアップを目指していきたい。						
⑫事業名	おもちゃルームきらきらの開設					事業開始	H8.4
事業目的	おもちゃを使つての遊びの楽しさ・おもしろさの中から、子どもの自発性や創造性を育てるとともに、感覚・運動機能の発達を促進し、あわせて、障害児・健常児の別なく、子ども・親・ボランティア等のふれあいの場を提供し、子どもの健全育成を図る。						
事業内容	小学校低学年までの子どもと親を対象に、毎月第1木曜日と第3土曜日の10時から12時の間、福祉会館において開催。運営は、ボランティアグループ『トゥインクル』による。						
事業実績		開設回数		延利用者数	子ども	保護者	ボランティア
	本年度	21回		389人	242人	147人	138人
	前年度	20回		311人	173人	138人	130人
総括	夏休みに福祉会館屋上にて行われる水遊びが大盛況で親子とも楽しんでもらった。						

小地域福祉活動

⑬事業名	ふれあい・いきいきサロン事業					事業開始	H13.5
事業目的	ひとりぐらしや虚弱な高齢者が気軽に集えるサロンを開設し、地域住民とのふれあいの中で孤立感の解消、心身機能の向上を図るとともに、地域住民が福祉活動に参加し、住みよい福祉のまちづくりを自らの手で推進する。						
事業内容	自治会を実施主体に、自治会館等、参加者が歩いていける場所を会場に、参加者とボランティアと一緒に内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動。利用対象は、おおむね65歳以上の高齢者とするが、開催頻度も含め、実施主体ごとに設定していく。						
事業実績		実施数		実施自治会			
	本年度	34自治会		緑ヶ丘自治会・城自治会・二子自治会・新池自治会・宮ノ裏自治会・本荘北自治会・宮西自治会・古田東自治会・石ヶ池自治会・本荘東自治会・サンシティ本荘自治会・川端自治会・駅西自治会・野添中部自治会・駅前自治会・大中西自治会・宮山自治会・本荘古田南自治会・二子北自治会・古宮第2自治会・古宮第3自治会・駅東自治会・古田西自治会・オリーブハイツ自治会 新野添自治会・鹿の川自治会・野添高山自治会・大中東自治会・本荘西自治会・蓮池自治会・本荘中自治会・宮北自治会・サニーハウス土山自治会・学園北自治会 新規実施自治会：なし			

	前年度	34自治会	緑ヶ丘自治会・城自治会・二子自治会・新池自治会・宮ノ裏自治会・本荘北自治会・宮西自治会・古田東自治会・石ヶ池自治会・本荘東自治会・サンシティ本荘自治会・川端自治会・駅西自治会・野添中部自治会・駅前自治会・大中西自治会・宮山自治会・本荘古田南自治会・二子北自治会・古宮第2自治会・古宮第3自治会・駅前自治会・古田西自治会・オリーブハイツ自治会 新野添自治会・鹿の川自治会・野添高山自治会・大中東自治会・本荘西自治会・蓮池自治会・本荘中自治会・宮北自治会・サニーハウス土山自治会・学園北自治会 新規実施自治会：なし
総括	今年度も新規開設はなく、34自治会での実施となった。各サロンでは、もっと楽しめるプログラムや高齢者だけでなく運営者も含めた新たな参加者といった課題を感じている。このことは解決すべき課題ではあるが、一方では、サロンが自治会の事業として根付き、関わる皆さんのより良いものにしよという熱意を感じるものでもある。		

生きがい創り活動

⑭事業名	喜寿お祝い写真贈呈事業													事業開始	H10.9
事業目的	老人月間に際し、喜寿を祝い、記念として写真を贈呈する。														
事業内容	9月1日現在、数えの77歳の方を対象に希望を募り、撮影を行い、写真を贈る。														
事業実績		贈呈者数		対象者数											
	本年度	46名		324名											
	前年度	30名		314名											
総括	該当年に色々な事情で撮影できなかった方(1～2年前に該当された方)も撮影可能としたことで大変喜んで申し込んで下さる方もあり、今後とも出来る限り続けていくことが出来ればと思う。														
⑭事業名	★楽々くらぶ事業の受託													事業開始	H12.4
事業目的	特定高齢者が要介護状態となることを予防することを通じて、一人一人の生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援することを目的とする。														
事業内容	特定高齢者に対して、①運動器の機能向上プログラム、②栄養改善プログラム、③口腔機能の向上プログラムをそれぞれ、理学療法士等、管理栄養士等、歯科衛生士等の専門スタッフの指導に基づき実施する。														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
南部コミセン	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	3	2	39	40
	利用者数	28	54	56	59	63	34	33	67	71	73	56	32	626	448
西部コミセン	回数	2	4	4	4	3	2	2	4	4	4	4	2	39	40
	利用者数	14	26	26	30	31	13	11	23	29	31	33	18	285	359
野添コミセン	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40
	利用者数	49	86	90	90	89	49	45	79	86	95	94	44	896	765
福祉会館	回数	2	4	4	4	4	2	2	4	4	4	4	2	40	40
	利用者数	36	67	64	68	68	35	33	69	60	61	61	31	653	634
合計	回数	8	16	16	16	15	8	8	16	16	16	15	8	158	160
	利用者数	127	233	236	247	251	131	122	238	246	260	244	125	2,460	2,206
総括	介護予防事業として、専門スタッフにより①運動器の機能向上プログラム、②栄養改善プログラム、③口腔機能の向上プログラムおよびレクリエーションを提供している。介護保険の利用等により退会される方もいるが、年々利用者数が増えている。専門スタッフによる年2回のアンケートでも、大半														

〔Ⅱ〕 ボランティア活動

(昭和58年9月ボランティアセンター設置)

学習機会の提供					
1) 入門講座	教室名	回数	対象者	参加人員	内 容
	保 育 体 験 教 室	1回	小(高学年)・中・高・大学生	6名	蓮池保育園において、保育士の指導の下、体験を行った。
2) 養成講座	要 約 筆 記 初 級 講 座	0回	一般	0名	参加者を募集したが申込みがなく、実施しなかった。
3) 研修会	点 訳 初 級 講 座	6回	一般	3名	町内で活動中のボランティアグループに講師を依頼し、点訳の入門にあたる講座を実施した。
	手 話 中 級 講 座	6回	会員	22名	いなみ町ろうあ協会等に講師を依頼し、実践的な手話表現をご指導いただいた。
交流・ネットワークの推進事業					
1) ボランティア連絡会の支援	幹事会や研修会における助言・活動費の助成による支援				
情報の収集・提供・発信事業					
1) ボランティア情報の提供	社協だよりでの情報提供 掲載回数:年10回 全戸配布12,500部/1回				
マッチング・支援事業					
コーディネート事業	ボランティア活動の需給調整 ボランティア災害共済の加入促進				
相談活動					
1) 活動相談受付事業	相談に対応できるような情報を常に入手して、福祉分野だけでなく、幅の広い活動情報を活動希望者に対応した。				
総 括	町内の関係機関よりボランティア活動の依頼を受けるケースが増えてきている。今後も、既存のグループで対応できる依頼にとどまらず、幅広く相談を寄せていただくことを通じ、町内のボランティアニーズを把握していきたい。同時に、グループのみならず個人としても活動の意欲がある方の情報を収集できるように、広く関係性を築きあげていくことを目指す。また、今年度、相談記録様式を見直し、改善をはかった。				

〔Ⅲ〕 一般福祉活動

当事者組織への支援活動				
①事業名	各種団体への助成		事業開始	—
事業目的	各種団体・当事者組織に助成をし、自主的な活動の支援を行う。			
事業内容	各種団体・当事者組織の事業計画に基づく申請により助成する。また、活動の支援を行う。			

福祉学習活動

②事業名	福祉学習指定校の指定	事業開始	S62.4
事業目的	児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動への参加を促すことを目的とする。		
事業内容	3年間の県社協の指定校制度を終了した学校に対し、活動を継続できるよう助成し、活動の助言等行う。1校につき20,000円／年の助成。		
事業実績	播磨南小学校・蓮池小学校・播磨小学校・播磨西小学校・播磨南高等学校		

啓発・広報活動

③事業名	社協だよりの発行	事業開始	S44.6
事業目的	社協の事業・福祉サービス・福祉の動向等の情報を、住民に提供し、地域福祉の向上を図る。		
事業内容	社協だより『ゆう&あい』の毎月24日発行		
事業実績	発行回数：12回 発行部数：12,500枚／月 配布先：町内全戸・社協特別会員企業・各種関係機関		
④事業名	福祉大会の実施	事業開始	H8.6
事業目的	福祉大会を開催することで、社会福祉協議会や社協事業を周知するとともに、ボランティア活動等への啓発を目的とする。		
事業内容	車いす体験、ガイドヘルプ体験、点訳体験、要約筆記体験、手話体験		
事業実績	第18回福祉大会を第29回健康フェアと同時開催をした。 車いす体験 436名、ガイドヘルプ体験 307名、点訳体験約 421名、要約筆記体験 160名、手話体験 366名の参加があった。		

相談所の開設

⑤事業名	心配ごと相談所の開設		事業開始	S37.1				
事業目的	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行って、地域住民の福祉の増進を図る。							
事業内容	毎週火曜日13時から16時の3時間、福祉しあわせセンターにおいて、定期相談員8名により、住民より生活上の相談を受け、助言・援助を行う。							
事業実績		件数	処 理 状 況					
			解 決	再 来	民生委員	他機関	その他	
	生	計	4	1	1	0	1	1
	年	金	1	0	0	0	1	0
	職 業 ・ 生 業		1	0	0	0	0	1
	住 宅		5	0	1	0	2	2
	家 族		9	4	2	0	1	2
離 婚		6	1	3	0	2	0	

人 権 ・ 法 律	1	0	0	0	1	0
財 産	8	1	1	0	2	4
事 故	0	0	0	0	0	0
老 人 福 祉	2	0	0	0	1	1
苦 情	1	0	0	0	1	0
そ の 他	2	0	1	0	1	0
合 計	41	8	9	0	13	11

⑦事業名	法律相談所の開設	事業開始	H9.6
事業目的	心配ごと相談の一環として実施し、相談内容が多種多様化する中、法律的な助言・援助を必要とする相談の問題解決能力を高める。		
事業内容	毎月第1火曜日の13時30分から15時30分の2時間、福祉しあわせセンターにおいて、兵庫県弁護士会より弁護士を派遣してもらい相談を実施する。実施にあたっては、心配ごと相談を受けてもらい、問題解決上必要と判断した場合に予約とする。		
事業実績	実施回数： 12 回 相談件数： 14 件		

資金の貸付

⑧事業名	生活福祉資金の貸付		事業開始	S34.4
事業目的	低所得・高齢者・障害者世帯に対し、必要に応じた資金貸付を行うとともに、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことによって、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにする。			
事業内容	対 象:低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯 資金の種類:①福祉資金 ②教育支援資金 ③総合支援資金 ④臨時特例つなぎ資金 ⑤不動産担保型生活資金			
事業実績	種 類	件数	貸付額	備考
	教 育 支 援 資 金	3	2,731,000	高校1件 大学2件
	福 祉 資 金	1	45,000	
	総 合 支 援 資 金	3	1,510,000	
	合 計	7	4,286,000	※ 教育資金については学費納入時期ごとの分割貸付となっている。
⑨事業名	特別援護資金の貸付		事業開始	S35.9
事業目的	生活保護法にいう被保護者、要援護者の世帯または低所得者層と思われる世帯が、生活上または医療上等で緊急な支出を必要とする時のつなぎ資金として貸付ける。			
事業内容	対 象:生活保護法にいう被保護者、要援護者の世帯または低所得者層と思われる世帯 貸付限度額:50,000円償還期間:12ヶ月以内			
事業実績	貸付件数： 5 件 貸付総額： 120,000 円			

募金活動

⑩事業名	社協会費	事業開始	S58.6
事業目的	社協会員制を敷き、趣旨に替同する会員を募集し、その会費を自主財源として事業を推進する。		

事業内容	普通会費1戸500円 特別会費5,000円 とし、7月に実施。																																		
事業実績		会員数	金額 (円)																																
	普通会費	8,199 戸	4,099,400 円																																
	特別会費	150 社	750,000 円																																
	合計		4,849,400 円																																
⑪事業名	共同募金		事業開始 —																																
事業目的	住民相互のたすけあいを基調とし、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが主体的に参加する福祉コミュニティづくりへの参加を促し、実現するための多様な活動を財政面から支援する。																																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県共同募金会 播磨町共同募金委員会の実施する赤い羽根共同募金運動への協力。 配分金を、地域福祉推進のために有効に活用する。 																																		
事業実績	<p>平成24年度実施した共同募金の地域実績の98% 3,553,000円が、地区福祉事業配分金として配分された。これは、会費同様、社協の自主財源であり、在宅福祉サービスの実施に活用した。</p>																																		
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">平成25年度共同募金運動の状況</td> <td>実績額</td> <td>3,632,236 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標額 3,628,000 円</td> <td>広域目標額 (民間福祉施設・福祉団体への配分)</td> <td colspan="2">(内 訳)</td> </tr> <tr> <td>地域目標額 (地区福祉事業配分金として社協へ)</td> <td>戸別募金</td> <td>9,064 戸 2,251,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>街頭募金</td> <td>ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>法人募金</td> <td>346 社 1,144,946円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>個人募金</td> <td>17 人 14,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>学校募金</td> <td>7 校 61,040円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>職域募金</td> <td>9 職域 160,607円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>利息等</td> <td>143円</td> </tr> </table>	平成25年度共同募金運動の状況		実績額	3,632,236 円	目標額 3,628,000 円	広域目標額 (民間福祉施設・福祉団体への配分)	(内 訳)		地域目標額 (地区福祉事業配分金として社協へ)	戸別募金	9,064 戸 2,251,000円			街頭募金	ヶ所			法人募金	346 社 1,144,946円			個人募金	17 人 14,500円			学校募金	7 校 61,040円			職域募金	9 職域 160,607円			利息等
平成25年度共同募金運動の状況		実績額	3,632,236 円																																
目標額 3,628,000 円	広域目標額 (民間福祉施設・福祉団体への配分)	(内 訳)																																	
	地域目標額 (地区福祉事業配分金として社協へ)	戸別募金	9,064 戸 2,251,000円																																
		街頭募金	ヶ所																																
		法人募金	346 社 1,144,946円																																
		個人募金	17 人 14,500円																																
		学校募金	7 校 61,040円																																
		職域募金	9 職域 160,607円																																
		利息等	143円																																
⑫事業名	歳末募金		事業開始 S26.12																																
事業目的	新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て、福祉活動を展開する。																																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県共同募金会播磨町募金委員会とともに推進。 自治会や職域に募金の募集を行い、配分委員会で審議の後、民生委員を通じて対象世帯にお見舞金を届ける。 																																		
事業実績	1. 募金実績																																		
	区分	件数	金額																																
	自治会	9,286 戸	1,393,500 円																																
	職域	3 職域	130,507 円																																
	団体・グループ	2 件	80,000 円																																
	個人	2 名	8,665 円																																
	前年度繰越金		9,515,074 円																																
	合計 (A)		11,127,746 円																																

2. 配分実績																																			
配分区分		配分額																																	
要 援 護 世 帯		248,000 円																																	
手をつなぐ育成会		60,000 円																																	
は ま な す		30,000 円																																	
助 成 金		484,925 円																																	
合 計 (B)		822,925 円																																	
次年度への繰越金 (= A - B) 10,304,821 円																																			
⑬事業名	善意銀行		事業開始 S38.8																																
事業目的	地域住民の善意を発掘し、その高揚を図るとともに、善意による預託を受け、これを地域社会へ効果的に還元し、もって社会福祉の増進に寄与する。																																		
事業内容	・金銭による預託を受け入れる。 ・預託された金銭により、老人福祉・児童福祉・低所得者世帯福祉・地域福祉活動等に払出を行なう。																																		
事業実績	1. 預 託		2. 払 出																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>預託項目</th> <th>件数</th> <th>預託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">福祉のために</td> <td>個人</td> <td>24</td> <td>127,000 円</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>5</td> <td>96,631 円</td> </tr> <tr> <td>供 養</td> <td>2</td> <td>7,000 円</td> </tr> <tr> <td>預金利息等</td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31</td> <td>230,631 円</td> </tr> </tbody> </table>		預託項目	件数	預託金額	福祉のために	個人	24	127,000 円	団体	5	96,631 円	供 養	2	7,000 円	預金利息等		円	合 計	31	230,631 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>払出項目</th> <th>払出金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老 人 福 祉 活 動</td> <td>165,000 円</td> </tr> <tr> <td>児 童 福 祉 活 動</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>低 所 得 者 世 帯 福 祉 活 動</td> <td>90,000 円</td> </tr> <tr> <td>地 域 福 祉 活 動</td> <td>36,780 円</td> </tr> <tr> <td>そ の 他 の 福 祉 活 動 費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>291,780 円</td> </tr> </tbody> </table>	払出項目	払出金額	老 人 福 祉 活 動	165,000 円	児 童 福 祉 活 動	円	低 所 得 者 世 帯 福 祉 活 動	90,000 円	地 域 福 祉 活 動	36,780 円	そ の 他 の 福 祉 活 動 費	円	合 計
預託項目	件数	預託金額																																	
福祉のために	個人	24	127,000 円																																
	団体	5	96,631 円																																
供 養	2	7,000 円																																	
預金利息等		円																																	
合 計	31	230,631 円																																	
払出項目	払出金額																																		
老 人 福 祉 活 動	165,000 円																																		
児 童 福 祉 活 動	円																																		
低 所 得 者 世 帯 福 祉 活 動	90,000 円																																		
地 域 福 祉 活 動	36,780 円																																		
そ の 他 の 福 祉 活 動 費	円																																		
合 計	291,780 円																																		

〔IV〕 地域包括支援センター

事業名	地域包括支援センター											事業開始	H18.4	
事業目的	地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域包括ケアを実現する													
事業内容	I. 包括的支援事業①介護予防ケアマネジメント ②総合相談・支援 ③権利擁護 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援 II. 介護予防支援業務													
事業実績	1. 相談件数													
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
相 談 実 件 数	32	27	16	36	30	32	55	43	39	45	40	33	428	249
相 談 延 件 数	37	27	19	41	33	32	67	59	77	78	61	40	571	300
介護に関する相談	9	12	7	6	14	8	相談内容延べ件数のカウント方法を役場からの依頼・協議により10月から変更した						56	59
医療に関する相談	3	0	1	3	1	4							12	19
健康に関する相談	6	5	3	8	4	7							33	61
福祉サービス利用に関する相談	0	0	0	0	0	0							0	3

介護保険に関する相談	13	8	4	21	10	9								65	111
虐待に関する相談	0	0	0	0	1	0								1	2
認知症高齢者の介護・医療に関する相談	3	0	3	2	2	1								11	20
介護に関する相談							11	7	11	15	8	5		57	
健康・医療に関する相談							9	8	11	13	11	6		58	
介護保険・福祉サービス全般に関する相談							34	26	36	35	29	24		184	
生活相談(経済・生活保護等)に関する相談							4	2	1	1	1	1		10	
生活相談(人間関係等困難事例)に関する相談							0	2	3	0	1	0		6	
高齢者虐待に関する相談							2	0	1	0	3	0		6	
認知症に関する相談							2	9	10	9	4	3		37	
消費者被害に関する相談							0	0	0	0	0	0		0	
成年後見に関する相談							1	3	3	4	2	0		13	
その他	2	1	1	1	1	2	4	2	1	1	2	1		19	23
2. 介護予防ケアプラン作成実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
	257	257	257	258	261	265	267	266	267	255	248	252	3,110	2,972	
3. ケアマネジャー支援	○地域ネットワーク会議 1回/月 (12回) 参加者数 226名 ○支援困難事例助言 8件 ○支援困難事例同行訪問 7件 ○プラン作成技術指導 0件 ○サービス担当者会議 1件 ○その他 2件														
4. 啓発活動	健康福祉フェア シニア元気アップ出前講座 26回(598名) 認知症サポーター養成講座 14回(239名)														
総括	<p>平成18年度に事業が開始され、平成22年度までの5年間は、相談実件数が200件を超えることはなかったが、平成23年度に227件、平成24年度に249件と微増傾向を示していたが、平成25年度は417件の実相談件数と急増した。地域包括支援センターの認知度を上げるべく、これまで取り組んできた成果であるが、それだけ高齢化が進み介護を必要とする方が増えてきている傾向でもある。</p> <p>介護予防プラン作成数は毎年100件から200件の増加傾向にあり、平成21年度と平成24年度にプランナーを各1名採用し対応してきたが、委託の受け入れ先も少なく、現状の職員体制でプランを作成することが困難になってきている。</p> <p>地域包括支援センターとして、平成25年度は認知症サポーター養成講座に力を注ぎ、平成19年度より6年間で304人の養成であったが543名(25年度だけで239名)まで養成した。また、介護予防事業として、これまでいくつか実施してきた予防体操を、「いきいき100歳体操」一本に絞りこむことを決めた。</p> <p>24年度より養成した介護支援ボランティアも活動が行われるようになり、個別の対応につなげることもできた。</p>														

[V] ゆうあい園運営事業

事業名	ゆうあい園運営事業		事業開始	S58.5
事業目的	利用者に対し、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識・能力が高まった利用者には、一般就労等への移行に向けて支援する。			

園 生	定員20人		職員体制		管理者・サービス管理責任者(常勤1名) 生活支援員3名(内、常勤2名・非常勤1名)、職業指導員3名(内、常勤1名・非常勤2名)										
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	開館日数	21	21	20	22	19	19	22	20	19	19	19	20	241	241
	登録人員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	—	
	延利用人員	393	406	385	400	352	360	420	357	369	345	360	381	4,528	4,682
	1日平均利用人員	18.7	19.3	19.3	18.2	18.5	18.9	19.1	17.9	19.4	18.2	18.9	19.1	18.8	19.4
	稼働率	93.6	96.7	96.3	90.9	92.6	94.7	95.5	89.3	97.1	90.8	94.7	95.3	93.9	97.1
事業実績	1. 作業指導		3グループに分けて実施。 Aグループ：園内外の作業を中心となっておこなった。 Bグループ：作業内容によりA・Cグループと共におこなった。 Cグループ：作業工程に関わりながら、創作活動や運動も取り入れ、情緒安定を図った。 内容：電気部品関連、アイスクリームのスプーン結束、クリーニング、コープ実習、農作業、資源回収、カレンダー作り、公園清掃 公用車洗車、デイサービス入浴タオル洗濯、役場内バザー、チャレンジショップ出店、封筒封入												
	2. 生活訓練		内容：調理実習・歯磨き指導・身辺自立に向けた指導												
	3. 余暇活動		内容：クラブ活動(生け花・運動)・和太鼓・創作活動・将棋												
	4. 機能訓練		内容：レクリエーションを通じての機能回復訓練(理学療法・作業療法)(12回/年 186人利用)												
	5. 訪問歯科指導		内容：歯科衛生士による口腔内衛生指導(3回/年)7月・12月・3月												
	6. ボランティアによる支援		内容：資源回収への協力・太鼓指導・農園への協力・安全への見守り(628人/年)												
	7. 避難訓練		内容：利用者の安全確保(3回/年 通報・避難誘導・消火)(ゆうあいプラザ合同訓練)6月・10月・1月												
総括	①作業の内容により一人ひとり適性を見極めて作業を行ったが、集中・持続力には繋がらなかった。②自己完結できる利用者には作業手順を説明し、自らすすめられるように支援した。③機能訓練では理学療法・作業療法を併用して取り組み、理学療法では個別に対応し、家族へ繋げた。また、リズム体操で健康増進を図った。作業療法ではレクリエーションを行ったり創作で切り絵等を行った。④作業所間での人事交流は図れなかったが、スキルアップを図るための職員研修は受講できた。														

[VI] 介護保険事業

ホームヘルプステーション															
①事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号 28728000079)										事業開始	H12.4			
事業方針	サービスの質を確保しながら効率の良い供給体制を確立し、利用者側に立って運営することを基本方針とし、職員の資質向上を目指し、要介護状態または要支援状態にある高齢者に対し、適正な訪問介護を提供する。														
職員体制	訪問介護員(常勤)：4名(内2名 常勤パート) 訪問介護員(非常勤)：11名														
事業実績	1. 要介護度別利用者数														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	要支援Ⅰ	16	14	15	16	18	18	16	18	20	18	20	19	208	240
要支援Ⅱ	10	10	10	10	10	10	10	10	17	17	17	17	170	170	

精神障害者	5	6	6	6	5	4	4	4	3	2	2	3	50	50
生活サポート事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
サービス提供時間														
身体介護	2:30	15:00	10:00	11:30	11:00	12:30	16:00	17:00	23:00	22:30	0:00	0:00	141:00	107:00
生活援助	38:00	43:25	35:30	47:00	36:30	38:30	16:00	25:00	21:00	17:00	16:00	13:00	346:55	347:00
合計	40:30	58:25	45:30	58:30	47:30	51:00	32:00	42:00	44:00	39:30	16:00	13:00	487:55	454:00

播磨町デイサービスセンター

⑤事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号 28728000168)												事業開始	H12.4	
事業方針	サービスの質を確保しながら効率の良い供給体制を確立し、利用者の人格を尊重しつつ、目配り・気配り・心配りを忘れず、常に利用者側に立って事業運営することを基本とする。職員の介護技術の向上を目指し、要支援状態または要介護状態と認定され利用する高齢者に対し、適正な通所介護を提供し、利用者が安全で安心して自分らしさを発揮できるよう、家族にも安心してもらえるよう事業に取り組む。														
職員体制	施設長： 1名 生活相談員： 2名 看護職員(常勤)： 1名 介護職員(常勤)： 6名 看護職員(非常勤)： 1名 介護職員(非常勤)： 9名														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	開館日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308	307
	登録人員	76	81	81	82	80	80	79	81	79	83	81	79	—	—
	延利用人員	690	713	683	723	664	602	668	668	613	603	597	630	7,854	7,945
	1日平均利用人員	26.5	26.4	27.3	26.8	24.6	24.1	24.7	25.7	25.5	25.1	24.9	24.2	25.5	25.9
	稼働率	73.7	73.4	75.9	74.4	68.3	66.9	68.7	71.4	70.9	69.8	69.1	67.3	70.8	71.9
総括	年次計画に掲げている本人や家族のニーズ把握をして、ケアマネジャーのケアプランに沿った通所介護計画を立案してサービス提供を行なうことは出来た。特にレクリエーションの提供実施に関しては、個別ニーズの合った内容になるよう、プログラムの組み合わせに工夫をした。年度末からは「いきいき百歳体操」の導入をして、熱心に取り組まれている姿も見られ、今後は運動の効果を「見える化」して、ご本人の達成感、家族・ケアマネへの情報提供に役立てていきたいと考えている。職員研修の取り組みが不十分なため、次年度は計画的実施に努める。														
⑥事業名	障害者デイサービス事業												事業開始	H15.4	
事業目的	在宅の身体障害者の自立の促進、生活の改善、身体の機能維持向上等を図ることができるよう、通所により創作的活動、機能訓練等の各種のサービスを提供する事により、身体障害者の自立と社会参加を促進し、福祉の向上を図る。														
事業内容	対象者:町内に在住する18歳以上の身体障害者														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	延利用人員	47	53	50	53	52	50	51	53	49	48	46	56	608	620
⑦事業名	身体障害者短期入所事業												事業開始	H12.4	
事業目的	重度身体障害者の介護を行う者の疾病その他の理由等により、障害者が居宅において介護を受けることができず、一時的な保護を必要とする場合に、一時的に身体障害者更生援護施設等に保護し、居宅の障害者およびその家族の福祉の向上を図る。														
事業内容	対象者:町内に在住する在宅の障害者														
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度

居宅介護支援事業所

⑧事業名	介護保険事業(兵庫県指定事業所番号2872000079)											事業開始	H12.4		
事業方針	要介護者等からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状況や置かれている環境等に応じて、本人や家族の意向等をもとに、居宅サービスまたは施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保される居宅サービス事業者、介護保健施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行う。														
職員体制	介護支援専門員(ケアマネージャー) 専従: 4名				兼務: 1名										
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	要支援Ⅰ	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	7	5
	要支援Ⅱ	7	6	7	7	6	6	5	5	5	5	5	4	68	69
	要介護Ⅰ	40	47	45	47	44	41	38	38	37	37	37	38	489	591
	要介護Ⅱ	42	41	40	40	38	36	36	37	36	33	31	29	439	426
	要介護Ⅲ	19	18	21	20	21	28	29	28	27	27	28	30	296	226
	要介護Ⅳ	19	18	18	19	19	17	16	16	17	16	15	16	206	249
	要介護Ⅴ	10	10	8	11	10	10	11	12	11	11	9	11	124	111
合計	137	140	139	144	139	139	135	137	134	130	126	129	1,629	1,677	
前月との比較増減		3	-1	5	-5	0	-4	2	-3	-4	-4	3			
総括	新規利用申し込みは多かったが、維持には繋がらなかった。理由としては、利用者(重度・介護Ⅲ・Ⅳ)の入所・入院者が多かったこと、更に、町内にオープンしたグループホームへの入居者(軽度・介護Ⅱ)があったためと考える。また、今年度末をもって兼務職員のケアマネ資格終了することを踏まえた受入れ調整を一時的に図ったことにもよる。動向として、在宅での看取り支援や、播磨町や病院からの支援困難ケースの依頼は多く、社協居宅への期待が伺える。その分、ケアマネの多忙な状況は続いているが、昨年同様に、職員間でのお互いの支援や情報共有に力を入れている。加えて、H26年に入り、地域包括支援センターとの情報交換の時間を作り、ケースの振り返り・自己覚知への意識付けを継続することで、今後のケアマネの資質向上を目指している。播磨町・明石市・養父市・大月町より訪問調査の委託を受けた(播磨町2件、その他各1件)。														

[VII] 組織

①事業名	理 事 会														
構成	自治会代表 1名 ・ 民協代表 1名 ・ 婦人会代表 1名 ・ 有識者 9名											合計 12名			
開催状況		開催日			出席者数	議 題									
	第1回	平成25年4月26日(金)			12	1)総務委員会およびボランティアセンター運営委員会からの答申について									
	第2回	平成25年5月17日(金)			12	1)平成24年度事業報告について 2)平成24年度決算報告(案)および監査報告について 3)評議員の選任について									
	第3回	平成25年6月9日(日)			11	1)会長・副会長の選任について 2)会長職務代行順位について 3)各種委員会委員の選任について									
	第4回	平成25年7月19日(金)			12	1)労働基準監督署からの指摘事項について 2)介護保険事業等財政安定化基金の管理について									

第6回	平成25年9月20日(金)	10	1) 指定管理者の応募について ①播磨町福祉会館 ②播磨町デイサービスセンター ③播磨町福祉しあわせセンター 2) 苦情解決を図るための第三者委員の設置について
第7回	平成25年10月18日(金)	11	1) 平成25年度社協会費最終報告について 2) 歳末たすけあい募金の配分について
第8回	平成25年11月15日(金)	11	1) 歳末たすけあい募金の配分について ①年末年始地域支えあい事業(案)について ②要援護世帯へのお見舞について
第9回	平成25年12月20日(金)	11	1) 評議員の選任について 2) 各種委員会等の委員の選任について 3) 平成25年度第1次補正予算(案)について 4) 平成25年度赤い羽根共同募金運動の最終報告について
第10回	平成26年1月17日(金)	12	1) 平成26年度事業方針・事業計画について ①社協ならびに社協事業の周知度・認知度を高めるために ②第4次地域福祉推進計画の取り組みについて ③職員教育について
第11回	平成26年2月21日(金)	10	1) 歳末たすけあい運動の中間報告について 2) 定款の変更について
第12回	平成26年3月20日(木)	12	1) 平成26年度事業計画(案)について 2) 平成26年度予算(案)について

②事業名

評議員会

構成

自治会 6名・民生委員 6名・婦人連合会 1名・子連協 1名・シニアクラブ連合会 1名・更生保護女性会 1名・保護司会 1名
・教育委員会 1名・手をつなぐ育成会 1名・有識者 5名・ボランティア 5名・施設 1名 合計 30名

開催状況

	開催日	出席者数	議 題
第1回	平成25年5月25日(土)	20	1. 平成24年度事業報告について 2. 平成24年度決算(案)および監査報告について 3. 理事・監事の選任について
第2回	平成26年1月11日(土)	25	1. 平成25年度第1次補正予算(案)について 2. 理事の選任について
第3回	平成26年3月29日(土)	24	1) 平成26年度事業計画(案)について 2) 平成26年度予算(案)について 3) 定款の変更について

③事業名

各種委員会

開催状況

委員会名	委員数	開催回数	主な審議事項
総務委員会	5	0	
地域福祉委員会	6	0	
若年組行動委員会	7	0	

	ボランティアセンター運営委員会	8	7	福祉大会・ボランティアの集い等の事業計画について
	特別援護資金貸付審議委員会	5	3	借り入れ申込みに対する審議

〔Ⅷ〕 第4次地域福祉推進計画

重点目標その1 自治会エリアで見守り・支えあいの仕組み作りを目指す

活動目標1 民生委員児童委員協議会ならびにコミュニティセンター区ごとの自治会長会と懇談会を開催

①民生委員児童委員協議会との懇談会、計画の説明会を開催

総括 説明会を各自治会に呼び掛け実施したことから、自治会長会における説明会の実施はしなかった。

②コミュニティセンター区ごとの自治会長会の場を借りて懇談会、計画の説明会を開催

総括 全自治会（46自治会）に文書で説明会の開催を依頼し、19カ所から回答が得られた。うち7カ所から開催希望の返答があり実施に至る。社協、4次計画、地域包括の説明を行い、内容については概ねご理解をいただいた印象を受ける。しかし、福祉連絡会（仮称）といった具体的な取り組みについては負担感を感じる声もあり、組織化の支援までは至らなかった。

活動目標2 各自治会と懇談会を実施し、福祉連絡会（仮称）の組織化をはたらきかける

①各自治会エリアで懇談会を開催し、地域での見守り・支えあい活動の必要性について理解を広げる

総括 自治会における説明会の中でモデル自治会として協働したい旨提案し、また、説明会終了後に自治会長に対しても話し合いを呼び掛けるが、進展はなかった。

②モデル自治会を依頼し、一緒に福祉連絡会（仮称）を立ち上げ、活動支援を行う

活動目標4 行政や民生委員児童委員協議会等の関係機関・団体との連携、協働をすすめる

①行政や関係機関・団体へ調査の結果や計画の説明を行い、周知・理解促進を図る

総括 町役場危機管理グループが、古田東自治会と要援護者支援計画を作成したが、その後計画の評価等を行う見通しが立っていないことから、今後自治会が実施する避難訓練等に協働で関わりを持っていく旨確認し合った。

②福祉連絡会の設置に向けて、研修会の実施等、必要に応じて行政・関係機関と協働して取り組む

総括 具体的な取り組みには至らなかった。

重点目標その2 地域での見守り・支えあい活動を支援できる社会福祉協議会を目指す

活動目標1 社協事業・組織検討委員会（仮称）を設置し、事業・組織体制を見直し

<p>総括</p>	<p>各部署からの代表者、全11名で構成する社協事業組織検討委員会を設置し、月1回開催した。自治会における説明会資料の作成、及びモデル自治会へのアプローチについて協議を行った。</p>
<p>②事業・組織の見直しにより、事務局に地域福祉担当制を設ける</p>	
<p>総括</p>	<p>事務局職員2名が兼務で事業担当を担ったが、全体の体制見直しには至っていない。</p>
<p>③播磨町社協の強みでもある、介護・在宅福祉サービスの専門性や職員の力を地域の福祉活動につなぐ</p>	
<p>総括</p>	<p>具体的な地域福祉活動支援には至らなかったが、各部署の代表者からなる社協事業組織検討委員会を月1回開催すると共に、所属部署を問わず自治会における説明会に出席し、地域の課題把握を行った。</p>
<p>④事務局職員と介護・福祉サービス専門職とが、総合的に地域福祉活動を支援</p>	
<p>総括</p>	<p>具体的な地域福祉活動支援には至らなかったが、各部署の代表者からなる社協事業組織検討委員会を月1回開催すると共に、所属部署を問わず自治会における説明会に出席し、地域の課題把握を行った。</p>
<p>活動目標2 地域の福祉活動を推進・支援する職員（コミュニティワーカー）を育成</p>	
<p>①職員の研修計画を作成し、職場内研修や外部研修を通してコミュニティワーカーとしての感性や技術向上に努める</p>	
<p>総括</p>	<p>内部研修の実施と共に外部研修を活用し、各々が担う専門性を高めることに取り組んだ。</p>
<p>②社協の全職員が地域福祉の視点を持ち、それぞれの専門性を活かして、何らかのかたちで、地域福祉活動に携わる機会を設ける</p>	
<p>総括</p>	<p>内部研修は行ったが、全職員が地域福祉活動に携わる機会をつくるまでは至らなかった。</p>